

教養教育科目

講義科目

授業科目名	文化人類学入門	科目コード	配当年次	単位
担当教員	斎藤 みほ	GA80	1	2

科目の概要

グローバル化が進み、文化的背景の異なる人々が接する機会が増えている現代社会において、異文化理解や他者理解における態度や方法に関する議論の重要性がますます高まっている。文化人類学は、地球に生きる様々な「他者」を文化と社会の側面から理解すると同時に、私たちが生きる社会の支配的な価値観を相対化し、人間の普遍性を考えることを目指す学問である。

本科目では、私たちの持つ「あたりまえ」や「常識」を他の文化との比較から「ちょっと待って、本当にそうなの？」と問い直し、人間の普遍性と多様性の双方を視野に入れた文化人類学的な「ものの見方」を身につけることを目指す。

科目の到達目標

- ①文化人類学的な「ものの見方」が理解できる。
- ②現代社会の様々な課題やその解決について、文化人類学的アプローチを利用することができる。

テキスト	『自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門』 箕曲 在弘, 大和書房, 2024年
------	---

テキストの読み方

テキストは文化人類学と文化に関する総合的な視点からの説明と、人類学的視点から見た8つのテーマの分析から成っている。

- ①第0話と第9話は「文化」とは何か、また文化人類学とはどのような学問で、これを学ぶことでどのような視点を得ることができるかが解説されている。
- ②第1話から第8話まででは、「家族」や「贈り物」、「宗教」や「科学」など私たちの身の回りにあるテーマをそれぞれ取り上げ、私たちのもつ「あたりまえ」を異文化との比較から問い直している。1話から8話はそれぞれつながっていないので、関心のあるテーマから読み始めるのもよい。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。